

Abstract

AROMA RESEARCH No.53 (vol.14/No.1)

匂いコードセンサによる匂いの測定と可視化

林 健司

〈要旨〉

曖昧な感性表現を用いた情報伝達に頼っていた匂い情報は、嗅球上の匂いクラスターマップに基づいた可視化表現によりコミュニケーション可能な情報に変換できる。この匂いの質と量を匂い分子情報により定量的に表現する匂いコードセンサ技術は、分子鑄型ポリマ吸着剤などのナノ構造に基づく分子認識技術により実現される。さらに、匂い分子との相互作用により光学特性が変化するプローブ技術により匂いの流れ、分布、形状を可視化することができる。このような分子情報をマップにより可視化する技術や光学的に匂い空間を計測・可視化する匂いイメージセンサ技術によって、匂いを見ることができない生物を超えた新しい情報の創出が期待される。

〈キーワード〉

匂いコードセンサ、匂いクラスターマップ、可視化、匂いイメージセンサ、コミュニケーション技術